

と お か ま ち

Public Relations

市報



12²⁰¹⁵/₁₀

平成27年 12月10日号

No.257



特集

川西地域特集

笑顔と感動を届けたい

—スーパースタジオ「かわにし夢きやうばん」設立20周年—

(2~7ページ)

その他の主な内容

- 8 ビックアップニュース
十日町雪まつりのお知らせ
- 11 連載コーナー①
こへび隊・サポーター通信／ファインダー
- 12 タウンピックス
- 14 連載コーナー②
キラメキワークス
- 15 お知らせ・ガイド
- 20 連載コーナー③
熱中・夢中／おらほのたから
- 22 ジュニア芸術祭

闇の女王（高橋智恵子さん・高原田・40歳）の誘いに乗り天界の鬼退治を決意する〔百多呂王子〕（富井敦史さん・上野・56歳）

大起源のあらすじ

モーツァルトのオペラ「魔笛」を、きやらばん風にアレンジ。原作を追いつながら日本神話や民話など観客になじみの深い要素も取り入れながら展開します。

物語の舞台は妻有国。闇の女王「伊那美」が支配する冥界と、光を司る「荒巾鬼」が支配する天界に分かれていた。ある日、大蛇に追われた貴公子「百多呂」は、危ういところを冥界の巫女たちに救われる。女王の娘「木花」の肖像画を見て一目ぼれした百多呂は、荒巾鬼にさらわれた木花を救うべく「余多鳥」と共に、鬼退治にでかける。個性的なキャラクターが複雑にからみ合い、物語は意外な結末が待つ感動のラストシーンへと一気に進む。



川西地域特集

笑顔と感動を届けたい

— スーパー素人劇団「かわにし夢きやらばん」設立20周年 —

誕生して20年の節目を迎えた「かわにし夢きやらばん」。11月7日(土)に20周年記念公演を行い、会場いっぱいの約350人を笑いと感動に包みました。

今回上演した「—愛と運命の物語—大起源」の写真とあわせて、20年の歴史や舞台の裏側、メンバーの思いに迫ります。

●問合せ＝川西支所地域振興課 ☎768-4951

人生の試練を語る天界の導師【占鯖鬼】
(押木和之さん・元町・60歳)



第1幕 誕生

地域の声が自主公演を後押し

地域住民みんなが集まるイベントを

20年前、「地域住民みんなが集まるイベントを！」をスローガンに結成した「かわにし夢きやらばん」。プロの劇団を招致し、その公演に千人のお客さんを集めるため、公演45日前から事務所を設けて宣伝しました。その結果、1200人のお客さんが会場を埋め尽くし、大成功を収めました。

劇団招致から自主公演へ

成功に安堵していたメンバーに、お客さんの「お前さんたちがするのかと思った」と

いう声が多く寄せられました。その声に後押しされ、翌年からは自主公演に。演劇は素人ながらも、メンバーそれぞれの特技を生かして、脚本・音響・役者・スタッフ・道具・衣装制作をこなす「スーパー素人劇団」が誕生しました。

評判は市外・県外まで

平成8年11月に上演した第1弾が評判となり、第3弾は新潟市や奈良県川西町でも公演しました。その後も大地の芸術祭で公演するなど、実力も折り紙付きです。



設立当時の関係者



天界と冥界のはざまで苦悩する【木花姫】
(水野美咲さん・学校町1・29歳)

第2幕 こだわり

エンターテインメントに徹する

Interview

脚本担当の渡辺さんに、劇団が大切にしていることやこだわりを聞きました。

「きやらばんの登場人物は、荒唐無稽なようでいて身近な感じがしますね。」

第1回公演は「真説コシの白雪姫」でした。白雪姫と言えば、純真無垢な姫に継母の王妃の憎しみがおそいかるおなじみの物語ですが、奥の事情はどうだったのでしょうか。姫はとても生意気だったかもしれないし、王妃だつて姫を育てることに深く悩んでいたのかもしれない。そんな

な等身大の登場人物たちの出会いと別れを通して、人を信じることの難しさや愛する喜びと切なさなどを表現したいと思っています。見る人がどこかで共感しながら、仮想現実で非日常の世界に入り込めるように仕立てていくのが、夢きやらばんの舞台の特徴です。

「今回は歌劇『魔笛』がベースですが、見どころや苦労したところは？」

『魔笛』は「モーツァルトの名曲に尽きる」のオペラです。ストーリーは前半のファンタジーと後半の哲学的な展開のギャップが大きく、演劇にするのは難しいのですが、この地域の物語に引きずり下



■脚本担当
渡辺 正範さん(上野・57歳)

毎年8月頃から構想を練り始め、1か月くらいで仕上げる。その時々の社会情勢なども参考にしながら、元となる物語を選定する。

ろして、なんとか乗り切りました(笑)。芝居はエンターテインメントですから、面白いかどうかすべて。見る人がそれぞれの想像をめぐらしながら、楽しんでもらえたらうれしいです。

木花をわがものにしようとする【牛頭鬼】
(春日武さん・仁田・49歳)

観劇者の声



長野 京子さん（小泉）

身近の人がつくる親しみやすい雰囲気の魅力

夢きやらばんの舞台を見に来たのは今回で3回目です。魅力は何と言っても地域の身近な人でつくり上げている親しみやすい雰囲気です。今年も涙あり、笑いあり、感動の舞台を見ることができました。継続するのは大変なことだと思いますが、これからもずっと続けて欲しいと思います。また来年も楽しみにしています。

齋藤 明里さん（高山）

見る人を大切にしたい舞台

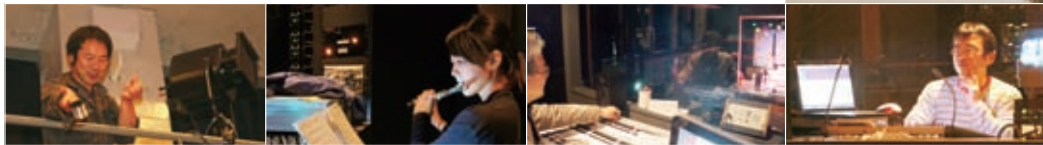
私は初めて観劇したのですが、劇団のパワーを強く感じ、「地域の皆さんを笑顔と感動で包みたい」という思いが会場にあふれて、役者のみなさんの演技にたくさんの笑い声や歓声が上がっていました。方言やイマドキのネタを絶妙に取り入れ、お年寄りから子どもまで楽しめる、見る人を大切にしたい素晴らしい舞台でした。絶対また見に来ます。

ポスターでふりかえる、かわにし夢きやらばん20年の歴史



「縁の下の力持ち」の活躍

絶賛の声が上がる熱演には効果的な演出も欠かせません。魔笛を吹く重要なシーンに使った生演奏の音色。絶妙なタイミングで演技を盛り上げる効果音。登場人物の感情に合わせ巧みに使い分けられる照明技術。役や物語のイメージに合わせながら、夢きやらばん独特の世界観を創り出す衣装や小道具。「縁の下の力持ち」の活躍があり、夢きやらばんの舞台はつくり上げられます。



役者の装いを整える衣装担当の村越由喜さん（野口・74歳）

舞台裏 × 舞台表

Interview

劇団メンバーに、舞台への思いを聞きました。



よたからす
余多鳥 役

沢口 幹夫さん
（下平新田・44歳）

家族の支えで舞台に立つ

稽古は平日深夜に及ぶので大変ですが、家族の理解と支えのおかげで、この一か月間は本当に集中してやらせてもらっています。これまでで一番うれしかったのは「見に行けない」と言っていた妻と子どもたちが、サプライズで会場に来てくれ、花束を用意してくれていたこと。その時は胸に熱いものがこみ上げてきました。



あらはばき
荒巾鬼 役

劇団代表 関口 昌生さん
（上野・38歳）

劇団メンバーの団結が舞台をつくる

新しい仲間も加わり、さらに幅広い年代が所属しています。劇団誕生以来、この活動がきっかけで団員同士が結婚したり、新しい家族ができた団員もいたりして、うれしいことも本当の家族のように分かち合える仲間です。連日の猛稽古では大変なこともありませんが、メンバー全員の団結があるからこそ、一か月間の活動に打ち込めます。



天界の家臣 役

高橋 優里花さん
（高原田・16歳）

いつかはお母さんのように演じたい

母が出演しているのを見て「自分もきやらばんに関われたらなあ」と思いました。始めは裏方として役者さんを支えたいと思っていましたが、皆さんから勧めていただき、出演することになりました。今回はセリフのない家臣の役でしたが、次回はセリフのある役にもチャレンジしたいです。



最終幕 思い

笑顔と感動で、 地域を元気に

かわにし夢きやらばんの劇団メンバーは、「スーパー素人劇団」の名のとおり、普段はお客さんと同じ地域住民。「住民が住民のために演ずること。このルーツは「村芝居」にあります」と脚本担当の渡辺さんは語ります。

昔、村芝居で感じる非日常の時間は、辛い日常を忘れるためにありました。村芝居を見て、エネルギーを蓄えてまた日常に戻っていく。会場を「ござ敷き」にするなど、「村芝居」としての雰囲気づくりも、かわにし夢きやらばんのこだわりです。

「見てくれた人の、明日からの元気につながれば」「お客さんの笑顔や感動の声が、私たちのエネルギーになる」と、占鯖鬼役^{しめはき}を演じた押木和之さん。笑顔と感動を届けるため、演者は猛稽古を重ね、舞台スタッフは最高の演出を設え、一夜限りの公演を完成させます。全力で舞台をつくる団員も、来場者も、共に明日の地域をつくるメンバーなのです。

今年の劇のタイトルは「大起源」。

20年の節目を迎えた今年を機に

かわにし夢きやらばんの起源である

「地域住民みんなが集まるイベント」を

目指し、また一歩前に進みます。

私たちの住むこの地に

笑顔と感動の舞台を届けるために――。

劇団員 募集中

かわにし夢きやらばんは、演劇に興味のある人や、十日町市を元気にしたい人を募集しています。気軽に連絡してください。

● 連絡先 かわにし夢きやらばん・渡貫 ☎ 768-3630

十日町雪まつりパスポート

特典ぎっしり! とってもお得で便利!

十日町市民割引 2,000円

※1月中旬販売(市報でお知らせします)

●取り扱い先＝雪まつり事務局(十日町市総合観光案内所内)、市役所本庁売店、各支所地域振興課

一般パスポート 前売:2,500円・当日:3,000円

●取り扱い先＝全国のセブン-イレブン・ローソン・JR東日本管内の「びゅうプラザ」「みどりの窓口(一部除く)」

お得な⑨特典



特典1 パスポート抽選券
豪華景品が当たる応募はがきが付いてきます。

【景品(一部)】

- ・ホテルベルナティオ・ペア宿泊券[1泊2食付](2組)
- ・十日町市カタログギフト(5人)
- ・manma and café ユキマツリ 2,000円分食事券(3人)ほか

特典2 雪の芸術作品めぐり・街なかめぐりスタンプラリー

雪の芸術作品と商店街を巡ってスタンプを集めて応募すると、ネージュ絵本とトートバッグをプレゼント。

特典3 雪上カーニバルパスポート優待ゾーン入場
雪上カーニバル(20日(土)開催)のパスポートゾーンに入場できます。

特典4 雪の芸術展雪像見学ツアー割引サービス
雪像見学ツアー(19日(金)・20日(土))料金から1,500円が割引されます。
※ツアー開催2日前までに申し込んでください
【申し込み先】共立観光㈱ ☎752-4128

◆イベント情報は随時更新します。
詳細は十日町雪まつり公式ホームページ <http://snowfes.jp/> をご覧ください。

特典5 おまつりひろばパスポート優待サービス
「協賛しているおまつりひろば」で商品割引・無料提供などが受けられます。

特典6 市街地巡回バス・ひろば巡回バス巡回バス乗り放題
雪の芸術作品巡りや、おまつりひろば巡りに便利な巡回バス(20日(土)・21日(日)運行)が乗り放題になります。

特典7 商店街・レンタカー・日帰り温泉・博物館おもてなしサービス
商店街の店や入浴施設などで、独自のおもてなしサービスを受けられます。

特典8 十日町きもの女王コンテスト投票券
20日(土)午後9時まで各雪まつり案内所で投票できます。

特典9 市内スキー場リフト券割引
上越国際当間スキー場・まつだいファミリースキー場・なかさと清津スキー場・松之山温泉スキー場の1日リフト券の割引が受けられます。

第67回 白い愛の祭典



復活!! 夜空を彩るナイヤガラ～熱い感動をあなたに～

平成28年 2月19日(金)～21日(日)

■問合せ ☎十日町雪まつり実行委員会事務局 ☎757-3100

雪上カーニバル 出演ゲスト

日時 2月20日(土) 午後5時～6時30分

会場 城ヶ丘ピュアランド 特設会場(十日町駅から徒歩約30分)

※注意事項
・会場内での撮影・録音・録画は固く禁止します。
・都合により予告なしに出演者を変更することがあります。

新潟発、世界基準のおもてなし

県内初の国宝「火焰型土器」と、雪の中でも緑を見せる生命力を持つ県の木「雪椿」を配し、雪の魅力を最大限に表現するステージから、日本文化の源流である縄文文化を発信します。



小島 瑠璃子
司会・PR大使



Sarah Alainn
サラ・オレイン



板野 友美



水谷 千重子
(友近)



出演者12月中に追加発表!
十日町雪まつり 検索

初開催!

雪上カーニバルステージ裏見学ツアー

- 日 2月18日(木)午後4時集合
- 定 先着20人※小学生以上
- ¥ 無料
- 他 中央公民館から会場まで往復徒歩、要事前予約
- 申・問 共立観光㈱ ☎752-4128

普段は見る事ができないステージの裏側や、花火の打ち上げ台などを見学。

制作中の巨大ステージを体感しながら主演者の気分が味わえます。

フェイスブックでも発信中!

十日町雪まつり
<http://www.facebook.com/neige.sanpo>

十日町きもの女王コンテスト
<http://www.facebook.com/kimono-queen.contest>



十日町きもの女王コンテスト 2016

コンテスト出場者募集

市の観光親善大使として、観光イベントや観光宣伝、都市間交流、きもののPRなどさまざまな場面で活躍する女性を募集します。豪華賞品も盛りだくさん。皆さんからの多数の応募をお待ちしています。



- 選出人数 3人
- 応募資格
 - ・未婚・既婚を問わず、1年間の活動が可能な18歳以上の女性（高校生除く）
 - ・新潟県内在住者※県外在住でも県内に帰省地があるときは応募可
 - ・市の観光親善大使として、平日を含め年間20日程度、市の観光行事などに出席可能な人。（書類審査通過者は、勤務先などから出席に関する同意書の提出をお願いします）
 - ・ほかのコンテストに入賞し、任期中でない人
 - ・十日町市やきものが大好きで、全国に向けてPRしたいという熱意のある人
- 応募方法
 - ・所定の応募用紙を持参もしくは郵送
 - ・雪まつりホームページの応募フォームで申し込み

- ※いずれも3か月以内に撮影された、正面向きの顔のみと正面向きの全身カラー写真各1枚（L判・1人で写っている写真）が必要
- ※提出した応募書類・写真は返却しません
- 応募締切 1月15日(金)午後7時必着
- 審査会
 - ・予選会（書類審査） 1月17日(日)
 - ・本選会出場者説明会（12人） 1月24日(日)午後1時～
- ※説明会で撮影する写真をガイドブックなどに掲載します
- ・本選会（公開審査） 2月21日(日)午後1時～
- 申し込み・問合せ 十日町雪まつり実行委員会事務局十日町きもの女王コンテスト係 ☎757-3100

各種募集のお知らせ 雪まつりに参加して楽しみましょう！

雪まつり協賛金募集

イベントを盛大に開催するための協賛を募集します。団体や個人、金額を問いませんので、多くの皆さんからの協賛をお願いします。

- 雪まつり協賛＝雪まつり全体に関する協賛です。
- 花火協賛＝雪上カーニバルのフィナーレを彩る花火への協賛です。皆さんの力で、華やかな花火を打ち上げましょう。
- 広告協賛＝多くの来場者が手にするガイドブックに広告を掲載します。企業や団体のPRに活用できます。※12月22日(火)までに1万円以上協賛のあった団体・個人の名前をガイドブックに掲載します
- 申込方法＝雪まつり事務局に問い合わせてください。

協賛行事募集

イベントを盛り上げるため、雪まつり期間中に開催される地域の催しを協賛行事として募集します。協賛行事は雪まつりガイドブックに日時と行事名を掲載します。

※経費を補助するものではありません

- 応募締め切り＝1月8日(金)
- 応募方法＝所定の用紙（雪まつりホームページ・雪まつり事務局に配置）を雪まつり事務局に提出

ひろば開設雪像制作団体募集

おまつりひろばを開設する団体と雪の芸術作品の制作団体を募集します。



- ①おまつりひろば＝ひろばで来訪客を迎え、おもてなしします。
- ②雪の芸術展＝3部門（芸術部門・特別部門・学童部門）
- ※芸術部門は十日町地域の作品のみ審査対象
- ③十日町駅西口での雪像制作＝手軽に雪像を作りたいグループを募集します。

- 応募締め切り＝12月22日(火)
- 応募方法＝所定の用紙（雪まつりホームページ・雪まつり事務局に配置）を雪まつり事務局に提出



問い合わせ

※十日町雪まつり実行委員会事務局
（市総合観光案内所）☎757-3100
ホームページ <http://snowfes.jp/>
電子メール snowfes@city.tokamachi.lg.jp

大地の芸術祭の里

こへび隊・サポーター通信 20

関口 好夫さん（西寺町・61歳・パート職員）

国内外のお客さんとの触れ合いが魅力

▼活動を通しての感想

今年の夏に初めてツアーバスガイドと作品の受付を担当しました。海外から多くのボランティアが参加していることに驚きました。また、運営スタッフをはじめ、ボランティアや集落の皆さんが、生き生きと活動していることに感動しました。



▼地元サポーターの活動の魅力とは？

十日町に居ながらにして、国内外のお客さんと接することができ、それが最大の魅力です。地元の魅力や直接案内でき、じかにお客さんの反応や感想を聞けます。

▼改めて気付いた地元の魅力とは？

リピーターから「おもてなしが

▼これからサポーターになる人へ一言

地元の中学生や高校生、大学生にもぜひ参加してほしいですね。県内外や海外から訪れるお客さんと接することはとても刺激的で、改めて地元のすばらしさを知る貴重な体験になると思います。

すごいですね」と言っていたとき、この土地の人の「優しさ」や「お迎えする心」も芸術祭の大きな魅力ではないかと感じました。

■問い合わせ先

「大地の芸術祭」の里
総合案内所
☎761-7767

移住者が撮るとおかまち



移住女子のフリーペーパーを読んで、中山間地域で暮らすことに憧れ、大学を休学して移住しました。

水沼 真由美さん
（川西地域・神奈川県出身・21歳）



- ①なんでも挑戦 5月には田植えに挑戦しました。研修先の人に教えてもらいながらがんばりましたが、曲がってしまいました。
- ②山から吹く風を感じて 農作業は大変なことも多いけど、その合間に見える景色に励まされてがんばれます。
- ③ミニトマトの栽培に挑戦 家の前で作ったミニトマトは元気に育ちました。自分で作った野菜の味は格別です。
- ④地域を彩る祭り 地域のお祭りに参加しました。

私はおはやして篠笛を吹かせてもらいました。
⑤知恵のおすそ分け 漬物講習会に参加しました。お母さんの知恵をおすそ分けしてもらいました。
⑥すてきなお母さんたちに囲まれて 研修先じろばたのお母さんたちは、移住してきた私を温かく受け入れてくれました。
⑦十日町のものにこだわって 十日町産の梅を使って梅酒作りに挑戦しました。飲むのが楽しみです。

- ⑧十日町のお母さん 仕事だけではなく、暮らし方も教えてくれるお母さん。本当のお母さんのようです。
- ⑨大地の恵み 十日町に来てからにんじんのおいしさに目覚めました。雪下ににんじんは甘くておいしいです。
- ⑩妻有男児 そば打ち体験をさせていただき、手作りそばと一緒に食べました。十日町のお父さんたちはイケメンです。

叙勲おめでとうございます



旭日双光章
(地方自治功労)

村山 耕司さん（川治上町2・72歳）

平成3年に初当選以来、通算17年11か月の長きにわたり十日町市議会議員として活躍。要職を歴任し、特に中越大震災の復旧・復興への尽力を高く評価されました。「多くの人の支援のおかげで長く続けることができました。これからは若い人にもぜひがんばってほしい」と話しました。



瑞宝双光章
(消防功労)

久保田 初男さん（南新田町3・66歳）

39年の長きにわたり、消防の職に従事しました。平成元年には県消防学校へ教官として派遣されるなど、消防職員の資質向上などに尽力されました。「先輩・同僚・後輩に恵まれて勤めることができました。皆さんへ感謝の気持ちでいっぱい」と語りました。



瑞宝単光章
(へき地保健衛生功労)

津端 正子さん（光間・67歳）

十日町市（旧松之山町）の保健師として長きにわたり、自殺予防や高齢者福祉など、住民の生命や健康を守るために尽力しました。「自殺予防対策は、組織を越えて町全体で丸となって取り組みました。仲間や関係者に感謝したい。松之山としていただいた賞だと思っています」。

伝統の味を後世に

11月15日(日)：おふくろ館（松之山黒倉）

そば打ち講習会（松之山自治振興会主催）に子どもを含む初心者26人が参加。そば打ち名人の指導を受けながら、つなぎにフノリなどを使った地元ならではのそばを打ちました。完成後は野菜のてんぷらと一緒に、打ちたて・茹でたて・あげたてを参加者全員で試食。自分で打ったそばの味は格別、みんな次から次へと頬張っていました。



たまにはこんなひとときを

11月19日(木)：清津峡溪谷トンネル（小出地内）



今年もボジョレ・ヌーボーの解禁日に、「音楽と樽 2015」（中里商工会青年部主催）が開催され、80人が新酒のワインを楽しみました。ジャズが心地よく響くトンネル内は、キャンドルの優しい灯りでさらに幻想的な雰囲気。ワインとおいしい料理を堪能できる空間が広がりました。



川西地域の中心ににぎわいを

11月23日(勤労感謝の日)：にぎわい空間(千手中央コミュニティセンター周辺)

千手地区振興会・千手商工振興会・千手温泉「千年の湯」が協力し、地元を盛り上げる秋のイベントを初開催。約90キロの「マグロの解体ショー」（千手商工振興会開催）では、マグロと職人の技が観客を圧倒しました。野上大輔くん（千手小5年）は「近くで見ると本当にすごい迫力。マグロは刺身でも焼いてもおいしそう」と目を輝かせました。



世田谷区交流27年目、新たな取組み

11月13日(金)・14日(土)：二子玉川ライズ（東京都世田谷区）

交流が続く世田谷区の「エネフェスせたがや」で松代地域の野菜・米やどぶろくなどを販売しました。「新鮮で大きな野菜や、魚沼産コシヒカリが手軽な価格で手に入る」と来場者からは好評の声。14日の再生可能エネルギーに関する首長会談では、市の再生可能エネルギーの取組みを発表しました。



小学校6年生が中学校生活を体験しました

11月12日(木)：南中学校

川治小学校と西小学校の6年生79人が、中学校の授業体験と部活動体験をしました。中学生自らの紹介を受け、希望する部を体験。普段も小中交流活動で中学生に会っている小学生は、緊張せずに活動していました。中学生は小学生を思いやり、優しく声をかけていました。小学生は「バレー部の先輩は上手で、一緒にやって楽しかった」「優しく声をかけてくれて安心した」など、中学生の力強さや優しさに触れ、春からの入学を楽しみにしていました。



ブナの木を美しく育てるために

11月16日(月)：美人林



今年もブナを伐採。これは過度に林の中が混み合うことで木々の成長力が衰えることを防ぐために実施されています。11月29日(日)には、伐採したブナを細かく砕いてチップにし林の中に撒きました。1年を通じて地域住民による美人林の保全活動が続いています。

第4回 SATOYAMA にぎわいトーク

新潟大学の、佐渡での調査研究や自然再生活動を中心に、東アジアの状況なども解説する座談会です。

日 12月15日(火)午後7時〜8時

農業農村整備リレーパネル展

十日町・津南地域の農業農村の整備状況や農業水利施設などを紹介します。

日 12月14日(月)〜20日(日)午前9時30分〜午後7時

会 情報館

問 十日町地域振興局農業振興部 (☎757-5519)

催し・講座

GUIDE

～お知らせ・ガイド～

第10回近代名作読書講座

今読みたい、また読みたい日本の名作

近代日本の名作を読み返し、魅力を味わいましょう。

日 12月17日(木)午後7時30分〜8時45分

対 中学生以上

定 30人

内 永井荷風『腕くらべ』

講 庭野三省さん

会・申・問 電話またはFAXで情報館 (☎750-5100、F750-5103)

雪文化3館スタンプラリー

提携している姉妹館3館のスタンプを集めた人へ記念品を贈呈します。

内 スタンプラリー台紙(会場)

会 ベルナティオ(森のホール)

内 佐渡島におけるトキ野生復帰と里山環境の再生

講 本間航介さん(新潟大学農学部フィールド科学教育研究センター准教授)

問 あてま森と水辺の教室ポプラ(ベルナティオ内 ☎758-4811)

30分

トオコン2015「本選会」開催

観覧自由

十日町市ビジネスコンテスト(通称「トオコン」)の本選会は、応募総数28プランから書類選考を通過した10プランが発表されます。今年は学生だけでなく、新規創業や新分野進出を考える人によるプランも加わり、プレゼンテーションを通じて熱い思いを伝えます。

日 12月19日(土)午後1時〜5時※予定

会 クロステン

●進出プラン名(発表順)※敬称略



学生部門	①大地の安心便〜ごはん1杯から始める災害保険〜／おにぎり(九州大学他、混成チーム) ②魔除けしたっけ? 幸せを呼ボーレ／松本ゼミナール(長岡大学チーム) ③からむしの食としての知名度を上げるための商品提案「わら福」／Square(東京経済大学チーム) ④音声ガイドアプリ／アイシップ(東京大学他、混成チーム)
新分野進出部門	⑤地域活性マラソン事業(日本海里山マラソンシリーズの開催)／加納由理 ⑥ジャパンコンシェルジュニュース編集・運営事業／柳川直隆 ⑦新たに防災機能を付与した純国産の防災遮光布の新規開発事業(製織からの)／羽鳥慎一
創業部門	⑧女性もボクササイズとして通えるキックボクシングジムの開業／児玉正暁 ⑨アウトドア王国とおかまち(アウトドアセンターの設立)／小山友誉 ⑩千年ジャケット〜Thousand Jacket〜(十日町の染織技術を全世界に発信)／野口智瑛

※詳しくは公式ホームページ (<http://www.toocon.jp/>)

☎産業政策課商工振興係 (☎757-3139)



佐藤 誠さん(南魚沼市・37歳)

市外での就職を経て、父親の働いていた現職場へ転職。型紙を使ってきもの生地を染める「型付」の工程を担当して3年目。

若者×若者

十日町市の仕事人

キラメキワーカーズ

語る仕事・会社・十日町市への思い

■問合せ

産業政策課

☎757-3139



高野 美穂子さん(田川町2・36歳)

大学で糸や布の染め・織り・デザインなどを学び、大学院卒業後に現職場に就職。きもののデザイン・加工などの企画設計を担当して11年目。

伝 統産業の難しさと楽しさ

高野さん―私は主に振袖のデザインを担当しています。伝統を生かしつつ時代にあったものを作るという難しさがありますが、完成したきものを着て喜んでいるお客様を見ると、とても充実した気持ちになりますね。

佐藤さん―私の担当する「型付」は生地に型紙をあてて染料で染めていく工程です。色ムラや柄のズレは許されませんし、染め上がりの色感を一定に保たなければいけないので気が抜けない反面、白い生地が鮮やかに染まっていく過程を目の前で見るのができ、とても楽しいです。

チームワークで、きものを作る

高野さん―自社内での一貫した生産体制ができているため、各工程の職人に話を聞きながら仕事ができます。そのため新しいデザインを考えると、職人の意向をうまく反映できていると思います。

佐藤さん―就職前は職人の世界に入ることへの不安もありましたが、先輩は皆さん親切で相談しや

伝 統と浪漫の継承を目指して

すく、丁寧にアドバイスをもらえるのでとてもありがたいです。

佐藤さん―職場にどんなことにも対応できるベテランの先輩がいます。周りの人の技術を吸収して早く一人前になり、先輩と肩を並べるような職人になりたいです。

高野さん―会社の技術を生かして現代のライフスタイルにあつたきものを作ること、もっとたくさんの人からきものを着て喜んでもらえるようになります。

求人あり

協力企業

■(株)青柳

- ・呉服企画製造卸
- ・十日町市栄町(工場は明石町)
- ・従業員48人
- ・☎757-2171
- ・伝統の技術を生かしながらオリジナリティのある「着て美しい」きものを追求します。



がん患者会
エンジェルスマイル

がんの体験や悩みについて語り合い、交流するための集いです。

会 中央公民館

女性特有のがん（乳がん・子宮頸がん・子宮体がん・卵巣がん）を治療中の人または経験した人

日 8月を除く毎月第2土曜日
午後1時30分～3時30分
（変更のときあり）※受付2時30分まで

¥ 1000円

福祉・健康

今年度の対象者には6月に案内を送付してあります。未受診の人は、歯科医院へ予約のうえ期限内に受診しましょう。費用は無料ですので、自分の歯を守るためにぜひ利用してください。

健康づくり推進課母子保健係（☎757-9759）

歯周疾患検診の有効期限は12月末まで

今年度の対象者には6月に案内を送付してあります。未受診の人は、歯科医院へ予約のうえ期限内に受診しましょう。費用は無料ですので、自分の歯を守るためにぜひ利用してください。

募集

平成27年度からスタートした新しい子育て支援制度の中で、子育ての当事者の立場から意見を述べます。

募集人数 1人

委嘱期間 2年

会議の開催 年間4回程度を予定（今年度はあと1回）

十日町市子ども・子育て会議委員募集

平成27年度からスタートした新しい子育て支援制度の中で、子育ての当事者の立場から意見を述べます。

募 集

・市内・南魚沼市・湯沢町の主要観光施設に配置）を受付で提示するとスタンプを押印し、3つ目を押印した館で記念品を贈呈※1枚につき1人入館料を割引

他 台紙がなくなるまで開催します。休館日・開館時間・入館料は館によって異なるので問い合わせてください

会・間 十日町市博物館（☎757-5531）・トミオカホワイト美術館（南魚沼市・☎025-775-3646）・鈴木牧之記念館（南魚沼市・☎025-782-9860）

予定）※平日

応募資格 27年12月1日現在）20歳以上の人※他条件あり、問い合わせください

・市内に3か月以上居住していること

・小学生までの子どもがいること

・児童福祉や子育て支援に関する知識・経験・関心などがあること

・市が設置する他の審議会などの委員を兼務していないこと

1月7日（木）※必着

申・間 応募用紙（市役所・各支所に配置、市のホームページからも入手可）を、郵送またはFAXなどで〒948-8501千歳町3-3子育て支援課保育関係（☎757-9169、F752-4635）

ボランティア情報館（図書館）

活動前に研修（活動内容や心構えなど）があります。※随時受付

日 希望する日・時間で活動可

ボランティア

活動前に研修（活動内容や心構えなど）があります。※随時受付

ボランティア

活動前に研修（活動内容や心構えなど）があります。※随時受付

活動場所 情報館・各分室

対 中学生以上、団体も可（市内で活動していること）※資格不要

内 図書の返却・整理・装備（ラベル付け、保護用フィルムの貼付）など

他 報酬・交通費の支給なし

申・間 情報館（☎750-100）

ボランティア

第37回 十日町新雪ジョギングマラソン大会

日 平成28年1月2日（土）午前8時～午後2時

会 十日町中学校およびマラソンコース周辺

内 受付・交通誘導・接待補助

対 18歳以上の成人

他 昼食は事務局で用意

申・間 大会会長・大久保（☎757-8638）、事務局・根津（☎757-710・F757-9269）

ボランティア

第37回 十日町新雪ジョギングマラソン大会

ボランティア

第37回 十日町新雪ジョギングマラソン大会

子育て

精巧な生き物フィギュアを使ったジオラマ（立体模型）を作ります。

日 12月20日（日）午前10時～正

赤十字救急法基礎講習会

【夜間講習コース】

日 1月5日（火）・20日（水）午後7時～9時※計4時間

会 旧本町分庁舎

12月28日（月）

【日中講習コース】

日 1月17日（日）午後1時～5時

会 津南町総合センター

1月7日（木）

（共通）

¥ 1500円※教材代・保険料

内 心肺蘇生法※AED含む

対 満15歳以上で全日程を受講できる人

申・間 日赤十日町市地区事務局（社会福祉協議会内 ☎750-5010）

赤十字救急法基礎講習会

【夜間講習コース】

日 1月5日（火）・20日（水）午後7時～9時※計4時間

会 旧本町分庁舎

12月28日（月）

【日中講習コース】

日 1月17日（日）午後1時～5時

会 津南町総合センター

1月7日（木）

（共通）

¥ 1500円※教材代・保険料

内 心肺蘇生法※AED含む

対 満15歳以上で全日程を受講できる人

申・間 日赤十日町市地区事務局（社会福祉協議会内 ☎750-5010）

くらし相談

そばにいて！
たった2分の給油中

これから春先にかけて、ホームタンクから灯油を小分けするときに、うっかりミスで灯油を流出させる事故が多発します。油の流出は地下水や河川の汚染原因になり、周辺住民に迷惑を及ぼすことがあります。灯油を小分けにするときは、給油が終わるまで目を離さないようにお願いします。また、降雪前に外部配管した給油管も点検しましょう。

環境衛生課環境企画係（☎752-3924）

くらし相談

そばにいて！
たった2分の給油中

くらし相談

そばにいて！
たった2分の給油中

コミュニティの発展に向けて ― コミュニティ助成事業報告 ―

コミュニティ助成事業とは、一般財団法人自治総合センターが宝くじの社会貢献広報事業として宝くじの受託事業収入を財源とし、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上を目的に実施しているものです。次の事業はいずれも宝くじの助成金により実施されました。

一般コミュニティ助成事業

● 太平区：子どもみこし・祭りはんてん・祭りうちわなど10種

● 東下組壮年会：ステージ幕の整備

コミュニティセンター助成事業

● 中条新田町内会：中条新田集会所の建設

特別警報の発表時に緊急速報メールが配信されます

11月19日から特別警報が発表されたとき、気象庁が緊急速報メールを活用し、対象エリアにその情報を配信します。

● 特別警報とは
警報の発表基準をはるかに超える気象現象（大雨・大雪など）が予想され、重大な災害発生の恐れが高まっているとき、最大限の警戒を呼び掛けるために気象庁が発表する情報です。

● 緊急速報メール（エリアメール）とは
携帯電話事業者（NTTドコモ・au・ソフトバンク）のサービスエリアにある携帯電話に、緊急情報を文字で一斉に伝達するサービスです。

● 市内で災害発生の危険が著しく高まっている状況です。あわてずに周囲の状況を確認し、命を守る行動をとってください。直ちに避難所へ向かうのではなく、大雨などが降り続けているときは、雨が小康状態になるまで建物の高層階へ一時避難するなど、緊急退避も考慮してください。

● 状況に応じ、市からは避難勧告・避難指示などを発表しますので、その内容を確認してください。身の危険を感じるときは、市からの避難勧告が出ていなくても、自身の判断で前項で記した緊急退避も含めた早めの自主避難をしてください。

この情報が届いたら…

！緊急速報メール

新潟県に特別警報（大雨、暴風、波浪）
最大級の警戒をしてください。
新たに対象になった地域があります。テレビ、ラジオ及び自治体等の情報をご確認ください。
（〇月〇日〇時〇分 新潟地方気象台発表）（気象庁）

17 市報とおかまち 平成27年12月10日号

市報とおかまち 平成27年12月10日号 16

です。300人以下の企業も行動計画の策定が努力義務になります。女性の活躍推進への取組みをお願いします。

関新潟労働局雇用均等室(☎025-288-3511)

**出張無料相談会
若者サポートステーション**

働くことに悩みを抱えている人のための出張相談と気軽に話せるしゃべり場です。

日 12月18日(金)〈相談〉午後1時~3時(要予約)、(しゃべり場)午後1時30分~3時30分

会 千手中央コミュニティセンター

対 15~39歳までの無職の若者やその保護者

申・関三条地域若者サポートステーション(☎0256-32-3374)

林業退職金共済制度(林退共)からのお知らせ

林退共に加入していたのにまだ退職金を受け取っていない人を探しています。自身の加入状況が不明なときは問い

冬 季 間 の 除 雪 作 業 時 間 確 保 の た め 、 十 日 町 駅 10 時 29 分 発 長 野 行 き の 時 刻 を 変 更 し ま す 。		● 実 施 日 〓 12 月 15 日 (火) 〓 ● 各 駅 の 時 刻
駅 名	変 更 前	変 更 後
十 日 町 発	10:29	11:19
土 市 発	10:35	11:25
越 後 水 沢 発	10:40	11:29
越 後 田 沢 発	10:45	11:34
森 宮 野 原 着	11:09	11:57
長 野 着	12:56	13:42

水道管の凍結防止は万全ですか？

冷え込みが厳しくなると、屋外の水道管や蛇口が凍って破裂することがあります。凍結事故による修理費と水道料金は、使用者の負担になります。十分な凍結対策をしましょう。また、水道を使用しないときに水道メーターが回っていないことを定期的に確認しましょう。

●凍結防止対策＝凍結しやすい箇所に保温材を巻いてください。発泡スチロールなど水を吸収しない素材が有効です

●破裂したとき＝メーターボックス内の止水栓を閉じてから、指定工事中に修理を依頼してください

●休止について＝冬季節水道を使用しないときは、水道の休止をお勧めします。休止・開栓の連絡は電話でも受け付けています

問 十日町市上下水道料金センター（☎757-3115）

平成28年度の認証を申請する人は、平成28年2月1日(月)までに提出してください。期限後の申請は受け付けられませんので注意してください。

【申請書(申込窓口・問合せ先に配置、県ホームページでも入手可)を市農業振興事務支援センター(JA十日町営農生活センター内)に提出

【問】十日町地域振興局農業振興部企画振興課(☎757-5518)

【有給休暇の取得促進に取り組みましょう】

新潟県は年次有給休暇の取得率が全国平均以下です。年末年始の年次有給休暇の取得促進に取り組みましょう。

【問】新潟労働局監督課(☎025-288-3503)

【女性活躍推進法が成立】

平成28年4月1日から30人以上の労働者を雇用する企業は女性の活躍推進に向けた行動計画の策定などが必要

年末年始の業務・営業情報などのお知らせ

●問合せ：掲載の各施設

[illegible]

施設 ○=通常開設・営業 △=変則あり ■（記号なし）=休み		12月								1月						備考（△の説明）
		25 金	26 土	27 日	28 月	29 火	30 水	31 木	1 祝	2 土	3 日	4 月	5 火	6 水		
市役所庁舎	市役所本庁・各支所 (☎757-3111)	○			○	戸籍（出生・婚姻・死亡など）関係の届け出は受け付けます ←──										



「習ったことはない。ばあちゃん（母親）が作ってたのを見て、やってみようと思って」。笠を作り始めて約10年。その作業に、他界した母親を思います。

「小学校の中学年ごろには、わらじなど、自分のものは自分で作ったもんさ」。わら細工は、一家の冬の仕事でした。菅笠もその一つ。「子どもには菅を横に張るところだけ任せられた。一番手間がかかるころだった」と、昔を懐かしみます。

おひるのさか

— つなぐ知恵と技 —

菅笠づくり
樋口 栄八さん（中尾・80歳）

母からつながれた里山の技を残す



①骨組みは、肉厚の孟宗竹（もうそうちく）を使用「ほんの少し丸みを出すのがコツ」。②厚みのある菅を重ねていきます。③骨組みから完成まで全て手作業。「一冬で50個くらい作るかな」。④小野さんにコツを伝授。「横に菅を張るのが面倒で。ここが荒いとすぐだめにならんだ」。



取材した人
地域おこし協力隊
小野 彩さん

私たちの活動でも手を抜かずに協力してくれる栄八さん。粋な計らいも忘れない憧れの存在です。菅笠も丁寧に作られていて、使っている人も重宝しています。この技をつなげていきたいですね。

里山で育まれた知恵や技をぜひ紹介してください。自薦他薦は問いません。申し込み・問い合わせは企画政策課広報広聴係 ☎ 757-3112 まで



新潟市から移住した西村治久さんが津池にオープンしたシェアハウス「ギルドハウス十日町」。プロジェクトを率いる大塚さんのほかにも、市内で地域づくりの体験してみたいという若者が、県内外から集まっています。（前列右から3番目がメンバーの細見翔太さん）



メンバーは、体験や取材を通して地域記者として十日町市を発信します。地元記者も現在募集中です。

10月の市民活動見本市「めっかめっか」では、「本の架け橋プロジェクト」を発表。「よそ者若者〇〇者博覧会」（11月11日、ふらっとステーションで開催）では、市内での取組みをアピールしました。



サークルの一員として、伊豆の地域づくりや東日本大震災の復興活動に従事してきた大塚真さん（24歳・津池・神奈川県横浜出身）。学生の立場での活動に限界を感じ、地域資源の発掘と、それを情報発信・事業化する会社を仲間と設立しました。市内には4年前から月に1度通い、イベントの手伝いなどを通じ、地域の皆さんと交流を深めてきました。

今年4月、市内に拠点を構え、始動したのがCo-Lab Media。おかまちプロジェクト。市内2軒目のシェアハウスの企画、十日町の織物を使った「千年ジャケット」の商品開発、希望者が本棚を間借りしてお勧めの本を紹介する企画、情報発信など、その活動は多岐に渡ります。

「あくまでヨソ者として地域の魅力をアピールし、十日町とつながる契機づくりをしたい。フットワークの軽さを生かし、東南アジアを中心とした来訪者を増やす仕組みも作れば」と大塚さん。多地域を舞台とする取組みは、新たな風をもたらすことでしょう。

活動を紹介したい団体を募集しています
ひとサポ ☎ 761-7444

このとき
熱中&夢中
市民活動ネットワークひとサポが、旬な人・団体を紹介します。

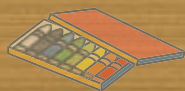
93

ヨソ者目線で地域びらき

「ひとサポ」
Co-Lab Media ひとおかまち

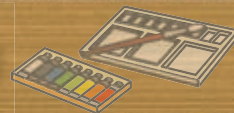
平成24年、新たな「活き方」を求め、学生ボランティアサークルで出会ったメンバーが立ち上げた株式会社トイズ。ヨソ者の目線で土地の魅力を発掘し、幅広い団体や個人・事業者と連携しながら、地域びらきを担いたい」と、今年から市内で新たなプロジェクトを立ち上げ、活動しています。

◆問合せ：事務局・大塚真さん（☎ 080-3380-1931）



ジュニア芸術祭

西小学校
126



柴野 こはるさん (1年)



「うらしまたろう」の話を聞いてかきました。竜宮城の中でごちそうを食べている場面です。うらしまたろうとおとひめさまをがんばってかきました。

太田 泰斗^{だいと}さん (2年)



馬場上オリンピック(運動会)のリレーの場面です。バトンを持っている手をはがんでかきました。しっかりとぎっている様子がうまくかけました。

富澤 巴^{はな}那^なさん (3年)



「ひとあし、ひとあし」という物語の絵です。カッコウが青虫を背中に乗せて飛んでいるところです。楽しい気持ちで空を飛んでいるように色のぬり方を工夫しました。

高橋 心遥^{こは}さん (4年)



ボール紙を水にぬらし、柔らかくして丸い形にしたところがむずかしかったです。きれいな色を塗って、カラフルな階段を付けて、楽しい感じにできました。

家庭科で裁縫をしたときのことをかきました。うまくできたところは、手が動いているように曲げてかいたことです。はさみや針などの道具も、うまくかけました。



なみぬいをする私
徳永 未玖^{みく}さん (5年)

塩瀬 拓真^{たくま}さん (6年)



グラウンドで撮影した6年生の集合写真の様子です。一人ひとりの顔を描くのがむずかしかったですが、思ったよりよく描けました。